全建発第２７～１７４号
平成２７年　９月１４日

一般社団法人　全日本建設技術協会
会　長　　松　田　芳　夫

第６１９回建設技術講習会の開催について

（工事積算（土木･建築）における動向と工事施工における合理化、安全対策）

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約６万２千名をもって構成され､建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い安全な国土づくり、公共工事の品質確保と入札契約の適正化､これからの社会インフラの維持管理･更新など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があり、技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第６１９回建設技術講習会では、品確法の改正に基づく価格設定の最新事情・今後の動向や土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点･会計検査にみる設計､積算､施工における留意点､･公共建築工事における工事積算基準と最近の動向・工事施工における合理化の取り組み及び現場での取り組み事例・工事事故と安全対策・ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学び、最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。　謹白